



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社  
コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員  
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,013	7.7	546	44.5	350	1.8	278	28.8
2022年3月期第3四半期	8,367	12.9	378		357		216	196.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.75	
2022年3月期第3四半期	9.90	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,970	11,249	51.2
2022年3月期	21,172	11,004	52.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,249百万円 2022年3月期 11,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		4.00	4.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	5.2	780	88.5	610	53.4	420	69.3	19.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	21,974,000 株	2022年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	149,823 株	2022年3月期	149,140 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	21,824,554 株	2022年3月期3Q	21,825,373 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波、第8波到来による感染者数の急増、ウクライナ情勢や中国でのロックダウンによる原料調達の制約、更には、急激な円安などの影響で原料の価格や物価が上昇するなど、今後も景気を下押しする経済状況が続く見込みであることから、経済活動の正常化にはまだまだ時間を要するものと思われまます。

化学工業におきましても、半導体関連を中心に堅調な推移を見せているものの、原材料やエネルギーコストの高騰により収益が圧迫されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いていると認識しております。

こうした状況下、当社は昨年7月に大規模な設備投資を機関決定するなど、市場の動向および需要を見定め、機動的な対応をとりつつ、重要課題を克服・解決しながら経営基盤を強化し、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比7.7%増の9,013百万円となったものの、第2四半期以降、第3四半期も引き続き原材料やエネルギーコスト高騰等の影響を大きく受けたため、営業利益は前年同四半期比44.5%増の546百万円にとどまりました。加えて、米国においてアンチ・ダンピング関税措置がかけられている当社製品に係る関税費用の追加計上を余儀なくされたため、経常利益は前年同四半期比1.8%減の350百万円となりました。最終的な四半期純利益は税金費用の計上を抑えられたこと等により、前年同四半期比28.8%増の278百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2022年3月期第3四半期累計期間				2023年3月期第3四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	719	2,529	3,249	38.8	885	2,786	3,671	40.7
化成品関係	1,787	398	2,186	26.2	2,250	457	2,707	30.1
医薬品関係	1,794	1,137	2,932	35.0	2,211	422	2,634	29.2
合計	4,302	4,065	8,367	100.0	5,347	3,666	9,013	100.0
構成比(%)	51.4	48.6	100.0		59.3	40.7	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (アミノ酸関係)

医薬用途、工業用途の販売が好調であったことから、売上高は3,671百万円と、前年同期と比べ422百万円(13.0%)の増収となりました。

## (化成品関係)

農薬中間体、高分子材料の販売が好調であったことから、売上高は2,707百万円と、前年同期と比べ521百万円(23.8%)の増収となりました。

## (医薬品関係)

国内向け原薬の販売は増加したものの、一部の原薬及び原薬中間体の輸出販売が減少したことから、売上高は2,634百万円と、前年同期に比べ297百万円(10.2%)の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態に関する分析

当第3四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から599百万円増加し、10,962百万円となりました。これは主に、製品、原材料の増加と、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から198百万円増加し、11,008百万円となりました。これは主に、機械及び装置の増加と、建物の減少によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から674百万円増加し、7,644百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金、設備関係電子記録債務の増加と、短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から121百万円減少し、3,077百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から244百万円増加し、11,249百万円となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当社の2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月16日に発表いたしました予想値を修正しております。通期業績予想の詳細は、本日発表の「営業外費用の計上並びに2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(通期業績予想)

売上高	13,000百万円
営業利益	780百万円
経常利益	610百万円
当期純利益	420百万円

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,856	1,285
受取手形及び売掛金	2,764	2,394
製品	3,379	4,801
仕掛品	414	142
原材料	1,552	1,739
その他	396	599
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,362	10,962
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,277	2,194
機械及び装置（純額）	1,863	2,126
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	66	97
その他（純額）	1,205	1,192
有形固定資産合計	8,523	8,720
無形固定資産	216	293
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506	1,620
その他	563	373
投資その他の資産合計	2,070	1,994
固定資産合計	10,810	11,008
資産合計	21,172	21,970
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	2,525
電子記録債務	322	328
短期借入金	3,500	3,300
1年内返済予定の長期借入金	379	519
未払法人税等	50	18
賞与引当金	168	96
設備関係電子記録債務	44	109
その他	591	747
流動負債合計	6,969	7,644
固定負債		
長期借入金	1,164	1,035
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,099	1,075
資産除去債務	14	14
その他	319	352
固定負債合計	3,199	3,077
負債合計	10,168	10,721

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,634	3,825
自己株式	△47	△47
株主資本合計	10,307	10,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528	582
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	696	750
純資産合計	11,004	11,249
負債純資産合計	21,172	21,970

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,367	9,013
売上原価	6,646	6,801
売上総利益	1,721	2,212
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	348	372
賞与引当金繰入額	16	22
研究開発費	199	472
その他	778	797
販売費及び一般管理費合計	1,342	1,665
営業利益	378	546
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	39
為替差益	3	22
雑収入	21	12
営業外収益合計	59	75
営業外費用		
支払利息	37	32
支払手数料	12	13
補助金返還損	24	—
関税費用	—	222
雑損失	6	4
営業外費用合計	80	271
経常利益	357	350
特別損失		
支払補償金	29	—
固定資産除却損	37	43
特別損失合計	66	43
税引前四半期純利益	290	307
法人税等	74	28
四半期純利益	216	278



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」に記載した、会計上の見積り等に際しての新型コロナウイルス感染症の収束時期等の仮定について重要な変更はありません。